



平成27年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月6日

上場取引所 東

上場会社名 日本農業株式会社

コード番号 4997 URL <http://www.nichino.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 神山 洋一

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部総務部長 (氏名) 飯島 豊和

TEL 03-6361-1400

四半期報告書提出予定日 平成27年8月6日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年9月期第3四半期の連結業績(平成26年10月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年9月期第3四半期	46,028	0.2	10,211	7.7	9,662	3.0	6,421	1.8
26年9月期第3四半期	45,933	18.8	9,482	26.6	9,381	30.1	6,310	32.7

(注) 包括利益 27年9月期第3四半期 7,002百万円 (6.6%) 26年9月期第3四半期 6,571百万円 (14.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年9月期第3四半期	96.08	—
26年9月期第3四半期	94.38	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年9月期第3四半期	88,893	52,616	58.0
26年9月期	68,790	45,719	66.1

(参考) 自己資本 27年9月期第3四半期 51,597百万円 26年9月期 45,456百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年9月期	—	6.50	—	8.50	15.00
27年9月期	—	7.50	—	—	—
27年9月期(予想)	—	—	—	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年9月期の連結業績予想(平成26年10月1日～平成27年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	61,000	7.6	9,600	2.0	9,100	△2.8	5,900	△3.9	88.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
(注) 詳細につきましては、四半期決算短信(添付資料)3ページ「当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年9月期3Q	70,026,782 株	26年9月期	70,026,782 株
② 期末自己株式数	27年9月期3Q	3,187,884 株	26年9月期	3,186,445 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年9月期3Q	66,839,473 株	26年9月期3Q	66,854,667 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府による経済対策や金融政策などを背景に企業収益が改善し、設備投資の増加や個人消費の持ち直しなど、緩やかな回復基調で推移しました。

しかしながら、米国の金融政策正常化に向けた動きや新興国経済の成長鈍化、ギリシャを巡る欧州債務問題など、海外経済の下振れ懸念は依然として強く、景気の先行きは不透明な状況にあります。

このような状況下、当社グループは自社開発品目の普及拡販と海外事業の拡大を目指しました。当第3四半期連結累計期間の売上高は460億28百万円(前年同期比95百万円増、同0.2%増)となりました。利益面ではノウハウ技術料収入の増加もあり、営業利益は102億11百万円(前年同期比7億28百万円増、同7.7%増)、経常利益は96億62百万円(前年同期比2億80百万円増、同3.0%増)となり、四半期純利益は64億21百万円(前年同期比1億11百万円増、同1.8%増)となりました。

当第3四半期連結累計期間における報告セグメントの概況は以下のとおりです。

[農薬事業]

国内農薬販売では、園芸用殺虫剤「フェニックス」、水稻用殺菌剤「ブイゲット」などの自社開発品目の普及拡販に努めるとともに、新規殺ダニ剤「ダニコング」を始めとする新製品5剤の販売を開始し、品目ポートフォリオの拡充を図りました。「ダニコング」の販売は、新規の作用性と生物効果が市場から評価され、計画を上回りました。農薬原体販売では、園芸用殺虫剤「コルト」の当用期に向けた販社への販売が好調に推移しました。しかしながら、既存の水稻用除草剤の販売不振などから国内販売全体の売上高は前年同期を下回りました。

海外農薬販売では、アジア地域で過年度の天候不順などに起因する流通在庫の消化が進展した韓国ならびに中国で「フェニックス」などの売上高が伸長しました。米州ではNichino America, Inc.の主力品目である園芸用殺虫剤「アブロード」が桜桃などの新規市場での拡販が進むなど販売が好調に推移しました。また、当第3四半期より、本年3月に発行済株式総数の74%を取得し連結子会社化したインドのHyderabad Chemical Pvt.Ltd.の業績を当社の連結業績に含めました。しかしながら、フェニックス原体販売の大幅な減少などから、為替は円安基調で推移したものの、海外販売全体の売上高は前年同期を下回りました。

なお、自社開発品目の技術導出先の販売が好調に推移したことから、ノウハウ技術料収入は前年同期を上回りました。

これらの結果、農薬事業の売上高は417億93百万円(前年同期比3億31百万円減、同0.8%減)となり、営業利益は94億97百万円(前年同期比8億17百万円増、同9.4%増)となりました。

[農薬以外の化学品事業]

化学品事業では、シロアリ薬剤事業が連結子会社である株式会社アグリマートの業績寄与もあり、売上高が伸長しました。

医薬品事業では、外用抗真菌剤「ラノコナゾール」、「ルリコナゾール」が競争激化などから売上高が伸び悩みました。

なお、医薬・動物薬に係るノウハウ技術料収入の増加もあり、農薬以外の化学品事業の売上高は28億78百万円（前年同期比4億62百万円増、同19.2%増）となり、営業利益は9億23百万円（前年同期比13百万円減、同1.4%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ201億3百万円増加し、888億93百万円となりました。これは、売上債権の増加、たな卸資産の増加及びHyderabad Chemical Pvt.Ltd.及びNectar Crop Sciences Pvt.Ltd.を連結子会社としたことによるのれんの増加が主な要因です。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ132億6百万円増加し、362億77百万円となりました。これは、短期借入金及び長期借入金の増加が主な要因です。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ68億96百万円増加し、526億16百万円となりました。これは、四半期純利益による利益剰余金の増加が主な要因です。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年9月期の連結業績予想につきましては、平成26年11月13日公表の連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しませんが、第2四半期連結会計期間において、Hyderabad Chemical Pvt.Ltd.の発行済株式総数の74%を取得したため、同社及び同社の100%出資子会社であるNectar Crop Sciences Pvt.Ltd.を連結の範囲に含めています。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用）

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しています。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（退職給付に関する会計基準の適用）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更し、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しています。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しています。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の投資その他の資産の「その他」（退職給付に係る資産）が175百万円増加し、退職給付に係る負債が219百万円減少し、利益剰余金が253百万円増加しています。また、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ8百万円増加しています。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,188	7,023
受取手形及び売掛金	15,169	22,826
電子記録債権	182	1,617
商品及び製品	8,792	10,916
仕掛品	455	457
原材料及び貯蔵品	1,975	4,277
その他	3,862	3,631
貸倒引当金	△3	△27
流動資産合計	38,623	50,722
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,713	4,960
機械装置及び運搬具	1,660	2,748
土地	5,565	6,433
その他	1,525	1,718
有形固定資産合計	13,465	15,859
無形固定資産		
のれん	2,509	7,225
その他	919	965
無形固定資産合計	3,429	8,191
投資その他の資産		
投資有価証券	11,945	12,303
その他	1,423	1,872
貸倒引当金	△96	△55
投資その他の資産合計	13,271	14,120
固定資産合計	30,166	38,170
資産合計	68,790	88,893

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,208	6,693
電子記録債務	512	778
短期借入金	906	7,091
未払法人税等	1,774	1,518
賞与引当金	725	430
営業外電子記録債務	300	274
その他	5,533	6,551
流動負債合計	16,961	23,338
固定負債		
長期借入金	2,300	7,900
退職給付に係る負債	2,107	1,951
その他	1,701	3,087
固定負債合計	6,109	12,938
負債合計	23,070	36,277
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,939	10,939
資本剰余金	13,235	13,235
利益剰余金	21,509	27,115
自己株式	△1,723	△1,725
株主資本合計	43,961	49,565
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,410	2,197
為替換算調整勘定	294	34
退職給付に係る調整累計額	△210	△198
その他の包括利益累計額合計	1,495	2,032
少数株主持分	263	1,018
純資産合計	45,719	52,616
負債純資産合計	68,790	88,893

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年6月30日)
売上高	45,933	46,028
売上原価	25,988	24,189
売上総利益	19,944	21,839
販売費及び一般管理費	10,462	11,628
営業利益	9,482	10,211
営業外収益		
受取利息	7	10
受取配当金	63	87
不動産賃貸料	56	58
持分法による投資利益	50	—
その他	61	73
営業外収益合計	239	229
営業外費用		
支払利息	52	75
為替差損	111	149
たな卸資産廃棄損	45	61
持分法による投資損失	—	374
その他	131	118
営業外費用合計	340	778
経常利益	9,381	9,662
特別損失		
固定資産処分損	16	7
特別損失合計	16	7
税金等調整前四半期純利益	9,364	9,654
法人税等	3,015	3,194
少数株主損益調整前四半期純利益	6,349	6,460
少数株主利益	39	38
四半期純利益	6,310	6,421

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位: 百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	6,349	6,460
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	150	786
為替換算調整勘定	48	40
退職給付に係る調整額	—	11
持分法適用会社に対する持分相当額	23	△295
その他の包括利益合計	221	542
四半期包括利益	6,571	7,002
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,526	6,958
少数株主に係る四半期包括利益	44	44

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年10月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	農薬	農薬以外の 化学品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	42,125	2,415	44,541	1,391	45,933	—	45,933
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4	—	4	681	685	△685	—
計	42,130	2,415	44,545	2,073	46,618	△685	45,933
セグメント利益	8,680	936	9,617	301	9,918	△436	9,482

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、造園緑化工事、スポーツ施設経営、不動産の賃貸、物流サービス、農薬残留分析ほかを含んでいます。

2 セグメント利益の調整額△436百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△465百万円、未実現利益の調整等28百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「農薬」セグメントにおいて、平成25年10月にISEM社(イタリア)との間でISEM社が所有する除草剤「オルトスルフアムロン」を譲り受け、また「農薬以外の化学品」セグメントにおいて、平成26年1月に株式会社アグリマート(旧 アリスタライフサイエンスアグリマート株式会社)の株式を取得したことにより、のれんが発生しております。当第3四半期連結累計期間におけるのれんの増加額は2,613百万円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年10月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	農薬	農薬以外の 化学品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	41,793	2,878	44,672	1,356	46,028	—	46,028
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5	—	5	740	746	△746	—
計	41,799	2,878	44,677	2,097	46,774	△746	46,028
セグメント利益	9,497	923	10,421	259	10,680	△469	10,211

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、造園緑化工事、スポーツ施設経営、不動産の賃貸、物流サービス、農薬残留分析ほかを含んでいます。

2 セグメント利益の調整額△469百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△472百万円、未実現利益の調整等2百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「農薬」セグメントにおいて、平成27年3月にHyderabad Chemical Pvt.Ltd.の株式を取得したことにより、のれんが発生しております。当第3四半期連結累計期間における、同社株式取得に伴うのれんの増加額は5,027百万円であります。